

熊



performance photo Museum of Modern Art / NY
photo by Choi Kafai
Performing Histories: Live Artwork Examining the Past at The Museum of Modern Art, New York

contact Gonzo

<http://contactgonzo.blogspot.jp/>

2006年大阪にて結成。パフォーマンスでは、複数の人と人々が様々な形で即興的に接触することに主眼をおき、痛んでゆく身体とそこから派生する哲学、思考形態をもとに、ローファイな方法論で世界の仕組みをひもとく。

殺



©Takashi Homma, Trails, 2010

ホンマタカシ

<http://betweenthebooks.com/>

1962年東京生まれ。写真家。1999年、写真集『東京郊外 TOKYO SUBURBIA』（光琳社出版）で第24回木村伊兵衛写真賞受賞。
2010年より東京造形大学大学院客員教授。

す

“Take a chance project”

アイホールと関西を拠点とするパフォーマンス・アーティストが、1年に1作品ペースで3作、継続的に新作を共同製作します。
「Take a chance」は、米語で「いちかばちか」という意味のイディオム。
アーティストの新しい挑戦と、未知の才能に賭け、見守り育成しようとする劇場・観客の気持ちを象徴しています。

《これまでの共同製作作品》

Taka a chance project027 2011年12月

「Musutafa United V.S. FC Super Kanja」

出演：塚原悠也、mikahip-k、加藤至、金井悠、臼井沙代子、松見拓也、小林正和、ほか

戦いをキーワードに、さまざまな武器や道具、動きの開発をし、それらが「どう相手に届くのか、もしくは届かないのか」を考察。
総勢20名のパフォーマンスが出演した。

Take a chance project028 2012年9月

「Abstract Life(世界の仕組み/肉体の条件)」サウンド・パフォーマンス

総合ディレクション・構成・演出：contact Gonzo(塚原悠也、三ヶ尻敬吾、金井悠、松見拓也、小林正和)
録音・エンジニアリング・編集：西川文章

パフォーマンス不在の舞台作品。

そこにいない身体を感じさせさせる実験的なサウンド・パフォーマンスで、音空間を体感。
併せて、写真展も開催した。

コンタクトゴンズ

ホンマタカシ

雨

CONTACT GONZO HOMMA TAKASHI

2011年よりアイホールとの共同製作事業“Take a chance project”で作品を発表しているパフォーマンス集団、contact Gonzo。同シリーズ3作目、集大成となる新作は、写真家・ホンマタカシを迎えてのコラボレーション。

昨冬、ホンマタカシがライフワークの一つとしている「雪山での鹿猟」の撮影に、contact Gonzoのメンバーが同行。採集した写真、映像、音などをベースにし、そこに身体のパフォーマンスを織り交ぜた舞台作品を発表します。

2013年12月07日 | 土 | 19:00 08日 | 日 | 17:00

*開演40分前より受付開始。入場整理券を発行します。
*開場は開演の20分前。
*演出の都合により、開演後の途中入場を制限させていただく場合がございます。
*未就学児童の入場はご遠慮ください。

■料金(日時指定・自由席)
一般前売=2,500円/一般当日=2,800円
学生=2,000円(前売のみ)
*学生チケットのお客様は、当日受付にて学生証をご提示ください。

■チケット取扱(チケット発売中)
アイホール TEL: 072-782-2000
JCDNダンスリザーブ(オンラインチケット予約)
<http://dance.jcdn.org/>

AI・HALL

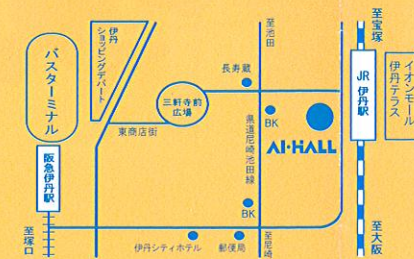
構成・演出・出演：コンタクトゴンゾ (塚原悠也、三ヶ尻敬悟、金井悠、松見拓也、小林正和)
構成・演出・映像：ホンマタカシ
舞台監督：尾崎聡、音響：西川文章

が

降る

AI・HALL

会場・お問い合わせ:アイホール(伊丹市立演劇ホール)
〒664-0846 兵庫県伊丹市伊丹2-4-1
tel:072-782-2000 fax:072-782-8880
info@aihall.com twitter:@ai_hall http://www.aihall.com
火曜日休館
JR伊丹駅前/阪急 伊丹駅より東へ徒歩7分



助成:公益財団法人セゾン文化財団
主催:公益財団法人伊丹市文化振興財団・伊丹市
平成25年度 文化庁 劇場・音楽堂等活性化事業

